



2013年12月5日

国際ボランティア・デー（2013年12月5日）による

リチャード・ディクタス 国連ボランティア計画（UNV）事務局長のメッセージ

毎年12月5日の国際ボランティア・デーは、人々の連帯や社会の絆の最も基本的な表現としてのボランティアリズムを祝う日です。「わかちあい」や「互恵」といった長く継承されてきた伝統をしばしば起源にするボランティアリズムは、国境、宗教、文化の違いを越える普遍的な事象となっています。

今年のこのとても特別な日に、国連ボランティア計画（UNV）が注目するのは、私たちが望む未来を作るための若者のボランティアの貢献です。

今日、世界には、素晴らしい力と可能性を秘めた、人類史上最も多い12億人を超える若者がいます。同時に彼らは固有の脆弱性と課題に直面しています。若者は、極度の貧困、失業、社会的排除、そして教育や他の基本的社会サービスへのアクセスの欠如から極端に影響をうけているのです。

今日、私たちは若者が困難に立ち向かおうとし、そして社会に変化をもたらす主体として、ますます行動していることを称え、認知します。世界中で若者は、組織に対し自身の問題だけでなく国家レベル、そして、地球規模の課題について対応するように求め、その際に若者は、改革を推進する活力、創造的なアイデア、そして決断力を提供します。若者は、科学技術の急速な進歩に後押しされて、地理、社会、宗教、性別、そして経済による壁を越えて繋がり、地球規模でその存在の重要性を加速させています。

ボランティアリズムは、若者の活力と創造性を平和、貧困の撲滅、不平等と社会的排除の大幅な解消に活用する最も有効な方法の一つです。

国際ボランティア・デーの今日、そして、これから毎日、私は世界中の若者が社会に参加し、ボランティア活動を通じて自分たちの地域をより良くしていくことを呼びかけたいと思います。